



AllFusion® 2E r8.1 Japanese

AllFusion 2E (旧 Advantage™ 2E) は、アプリケーション設計モデル、ネイティブコード生成、および展開機能が1つの開発環境に統合されたソリューションです。AllFusion 2E は、データ中心型の手法を用い、IBM eServer i5 (旧称 AS/400) 向けビジネスアプリケーションの構築に必要なコード、データベースの設計と定義、ヘルプテキストといったオブジェクトすべてを自動的に生成します。

特長

- モデルベース開発
- オブジェクトの再利用
- ネイティブコードの生成
- ライフサイクル全体のサポート
- ワークグループ環境
- 変更管理機能
- J2EE 向け Enterprise JavaBean コンポーネント開発
- ブラウザ表示用 Web Option

新機能

- Web サービスの作成と利用
- Web Option の機能強化
- トリガプログラム
- AllFusion 2E 翻訳支援機能

開発者の生産性向上とコスト削減の両立

企業が、顧客サービスの向上、全体的コストの削減、そして競争力の強化を効率的に実現するビジネスアプリケーションを迅速に提供していく必要性はますます高まっています。このようなアプリケーションは、企業の中核となるビジネス戦略を反映するだけでなく、必然的な変化に適応できる柔軟性も備えていなければなりません。しかし、複雑でコスト面での制約が大きい今日のビジネス環境では、こうした目標を達成することは容易ではありません。

Enterprise JavaBeans (EJBs) および Web サービスなどの最新テクノロジーは、このような要件への対処に役立ちますが、実際には、企業が生産性と品質の向上、コストの削減という継続的な要件を満たしながら、新たに出現するテクノロジーを容易に活用できるかどうか課題となります。具体的にはまったく新しい開発プロジェクトを実施すること、現行の開発チームに新たなトレーニングを行うこと、あるいは希少でコストの高い技術者のリクルーティングなど、多くの課題が考えられます。こうした課題に対処しなければならない一方で、技術面や予算面から、開発プロジェクトの失敗につながることも少なくありません。このような問題を考慮すれば、容認できるレベルの採算性を維持しながら最新テクノロジーを導入することは、不可能のようにも思われます。

i5/OS および OS/400 向けアプリケーションの効率的な提供

IBM eServer i5 は、世界中の何千もの企業において最適プラットフォームとして選択されています。統合された環境、低メンテナンスコスト、高水準のセキュリティ、そして使いやすさをその特長と

する eServer i5 は、今後も多くの企業で支持されることでしょう。しかも eServer i5 は、複数のプラットフォームや最新のテクノロジーをサポートするよう進化しており、ビジネスアプリケーションにおける従来の要件はもちろん、最新の要件にも対応しています。

今日のアプリケーション開発における課題に対処し、i5/OS の持つ利点を生かすため、コンピュータ・アソシエイツ (CA) は、eServer i5 向けにモデル駆動型のエンドツーエンド・アプリケーション開発環境である AllFusion 2E を提供しています。

AllFusion 2E を使用することにより、開発者はメンテナンスを容易にしつつ、新旧両方の i5/OS テクノロジーを活用した高品質なアプリケーションを短期間で構築できます。しかも、異なるシステムやプラットフォーム間におけるデータの統合や、サービスを中心としたコンポーネントベースのアーキテクチャなど、アプリケーション開発における主要なトレンドにも対応することが可能です。

特長

モデルベースの開発 アプリケーション設計にモデル化を取り入れることで、技術的仕様ではなくビジネス要件に重点を置いて設計できるようになります。その結果、ビジネスの運営と IT との歩調を合わせることができます。ビジネス要件が変化した場合、アプリケーション全体を反映する設計モデルに変更を加えることによって、ビジネス要件の変化を容易に管理することができ、手作業でコードを更新する必要もありません。

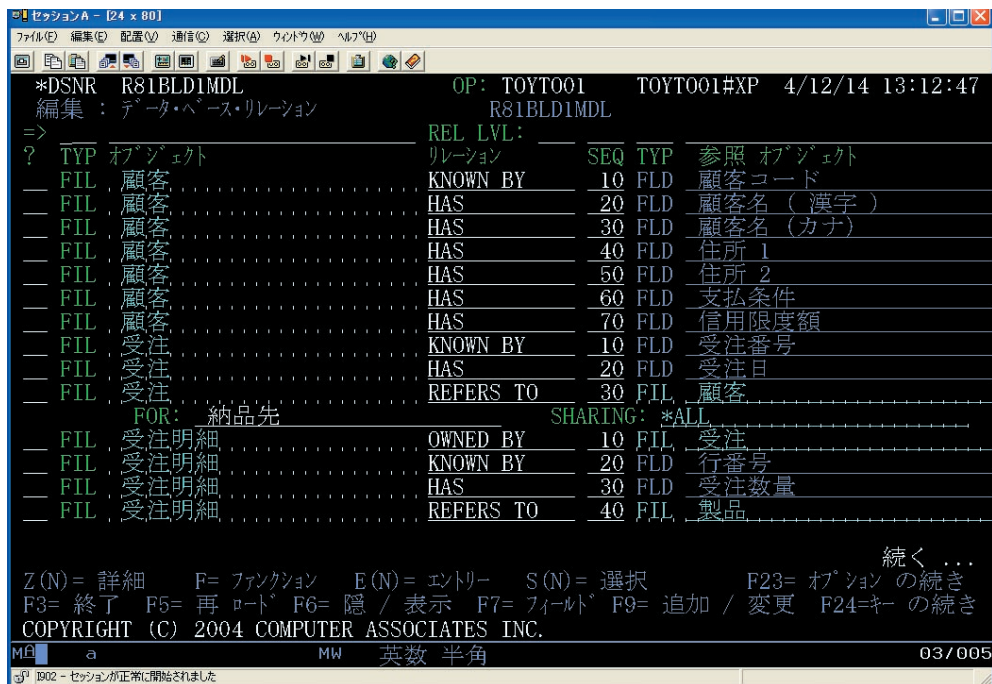


図 1: リレーショナルデータモデリング言語に基づいた設計モデルが AllFusion 2E の中核をなしています。設計モデルに加えた変更は、生成されたビジネスロジック、データベーススキーマ、5250 画面、および HTML Web ページのデザインにも自動的に反映されます。

• **データ中心型の設計** 正しく設計されたデータベースを構築するには、システムに格納するデータを徹底的に分析する必要があります。

これは、AllFusion 2E 開発環境の土台であるリレーショナルデータベース設計によって実現可能となります。

• **オブジェクトベースの手法** AllFusion 2E では、アプリケーションのモデル化プロセスにおいて、プラットフォームに左右されない構文を採用しています。最終的な設計は、設計者とビジネス経営者の両方が簡単に理解できる表現で示されます。

• **変更管理機能** AllFusion 2E には、設計オブジェクトを管理するためにさまざまな機能が備わっています。これらの機能は、オブジェクトの操作や管理を行うツールとしても、設計モデルへの変更を手作業で管理するツールとしても使用できます。

• **オブジェクトの再利用** AllFusion 2E を使用することにより、開発者は再利用可能なコンポーネントの作成に集中できるようになります。一般的なルーチンを表現するアクションやオブジェクトは、一度定義すればアプリケーション全体で再利用することができ、開発のスピードアップにつなげることができます。

• **ネイティブソースコードの生成** AllFusion 2E は、i5/OS アプリケーションの構築に必要な、RPG、ILE RPG、COBOL、または ILE COBOL のネイティブコードを設計モ

デル仕様に基づいて 100% 生成します。さらには、データベーススキーマ用の DDS や SQL の作成、画面およびレポートの生成、そしてヘルプテキストの生成を行うことが可能です。

• **ライフサイクル全体のサポート** 1つの開発環境内で、設計、コーディング、生成、構築、そして継続的な保守に対応できます。標準装備のランタイム環境では、低レベルコーディングの必要性をなくすために、リモート通信にも対応しています。

• **ワークグループ環境** チームを構成する複数の開発者が、同じプロジェクトで同時に作業することができ、すべての変更は一元化された 1つのリポジトリに反映されていきます。AllFusion 2E により、必要なセキュリティやオブジェクトロックも自動的に設定されます。

AllFusion® 2E Web Option

Direct-to-Web 機能 AllFusion 2E Web Option は、アプリケーションパネル用の HTML を生成します。標準装備のランタイム機能を 5250 データストリームとマージすることで、アプリケーションパネルの HTML を標準的な Web ブラウザにすばやく展開できます。

• **マークアップ言語生成機能** AllFusion 2E が生成した DDS から自動的に HTML を生成します。出力された HTML の改良やカスタマイズを詳細に行える機能も備えています。

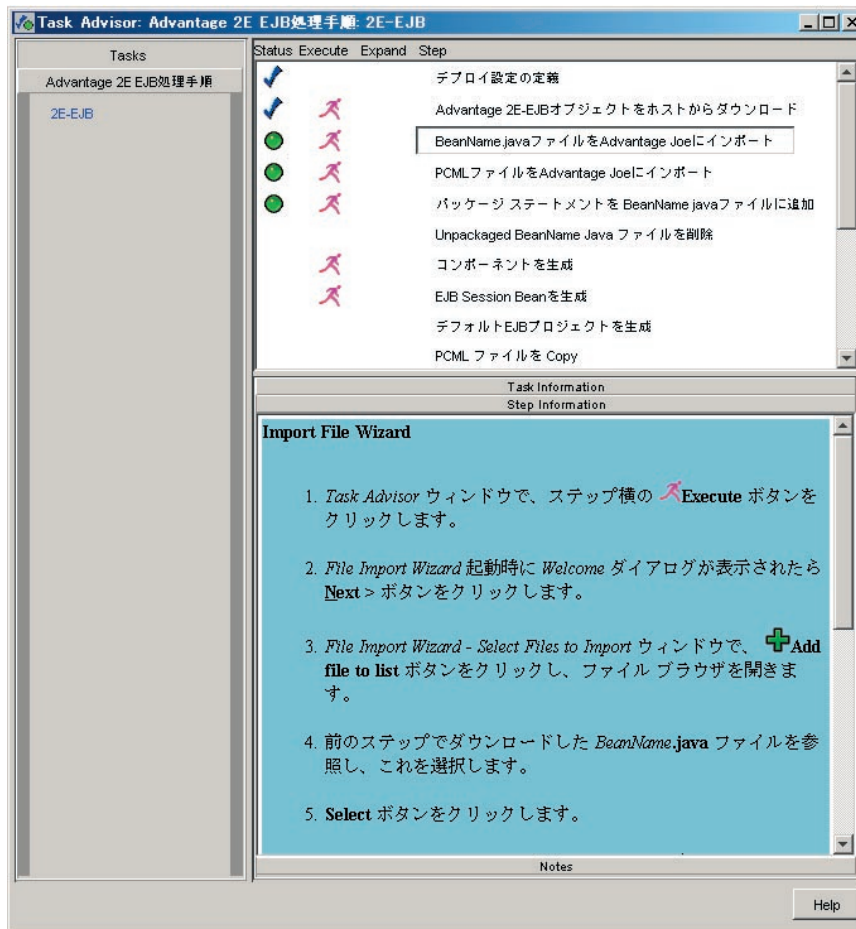


図 2: AllFusion 2E Task Advisor は、対話式のウィザードを順次表示します。開発者はウィザードに従いながら EJB の作成に必要な手順を進めていくことができます。

- **ダウンロード要件は不要** AllFusion 2E Web Option の機能は、純粹にブラウザベースで実装されます。顧客の PC1 台 1 台にソフトウェアをダウンロードする必要はありません。
- **最新アプリケーションの開発促進** AllFusion 2E Web Option は、AllFusion 2E 開発者の最小限の知識とトレーニングで Web アプリケーションを展開できるよう設計されています。
- **ジャストインタイムのページ生成** 画面があらかじめ変換されていない場合は、ランタイムによって 5250 画面が自動的に HTML に変換されます。これは、サードパーティや IBM が提供する画面を呼び出す場合に特に便利です。

AllFusion® 2E EJB Option

J2EE 向けビジネスロジックコンポーネント AllFusion 2E EJB Option は、AllFusion 2E が生成したホスト機能への呼び出しをラッピングするメソッドの格納、生成された Java の

インポート、そして EJB コンポーネントの構築と展開を行う Java クラスを生成します。

- **アプリケーションサーバの柔軟性向上** AllFusion 2E に付属する EJB コンポーネントは、JBoss や IBM WebSphere など、J2EE 互換の様々なアプリケーションサーバに展開が可能です。J2EE 互換のアプリケーションサーバは、eServer i5 やその他のプラットフォームで動作します。AllFusion 2E プログラムは他のプラットフォームでも利用できます。
- **タスクアドバイザー** AllFusion 2E タスクアドバイザーは対話式のチュートリアルです。開発者は自動的に呼び出されるウィザードに従うことで、EJB コンポーネントを構築できるよう設計されています。

構築、利用、展開用のウィザード AllFusion 2E 開発者は、コンポーネントの構築、Web サービスの利用、アプリケーションサーバへの展開のいずれの場合でも、EJB の開発に必要な

J2EE の標準や仕様の詳細を学ばなくても、ウィザードに従えば作業を進めることができます。

AllFusion® 2E 400 Toolkit

AllFusion 2E 400 Toolkit は、100 種を超えるコマンドとユーティリティが統合されたツールキットです。AllFusion 2E ベースの製品を使用しているかどうかに関係なく、i5/OS のプログラマ、管理者、エンドユーザにとって、生産性に関する様々なメリットを提供します。

- **ユーザアクセスツール**は、ユーザプロファイルやライブラリリストの管理はもちろん、ダイナミックメニューシステムを備えるなど、ユーザの運用環境のメンテナンスに役立ちます。
- **プログラミングツール**には、i5/OS オブジェクトのリストを操作する様々なコマンド、ソースの編集/デバッグツール、コンパイルプリプロセッサ、データベースツールなどが含まれています。
- **ドキュメンテーションツール**には、PDF ファイルやソースリスト作成、システムドキュメント作成用のツールが含まれています。
- **デザインツール**を使用すれば、パネルやレポートのプロトタイプをすばやく作成できます。

r8.1 の新機能

Web サービスの作成と利用 AllFusion 2E プログラムから EJB として提供されるビジネスロジックコンポーネントを Web サービスとして作成、展開できるようになり、複数の環境間での AllFusion 2E ビジネスアプリケーションの統合をさらに推し進めることができます。また、AllFusion 2E 以外で発行された Web サービスを AllFusion 2E で利用することもできます。

トリガプログラム トリガとは、ある特定のデータベースファイルについて、指定した変更操作が実行されたときにデータベースが自動的に実行するアクションのセットです。トリガは常に、ファイル(ODBC、JDBC、SQL、HLL など)の更新に使用するプロセスとは関係なく実行されるため、データの完全性の確保とメンテナンスにおける負担軽減に役立ちます。AllFusion 2E は、複数ユーザが作成したファイル固有のトリガプログラムを、ファイルに限定されない単一の汎用トリガルータに置き換えることにより、トリガプログラムの作成とメンテナンスを簡素化しています。

サポートする環境

IBM eServer i5/OS, OS/400, V5R3, V5R2, V5R1

※対応プラットフォームなどの詳細につきましては、CA ジャパン・ダイレクトにお問合せください。

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
©2005 Computer Associates International, Inc., and / or one of its subsidiaries. All rights reserved.



お問い合わせ



Computer Associates®

コンピュータ・アソシエイツ株式会社

〒163 0439 東京都新宿区西新宿2 1 1 新宿三井ビル
お問い合わせ窓口：CAジャパン・ダイレクト 0120 702 600
JapanDirect@ca.com

WEB サイト：www.caj.co.jp
※記載事項は変更になる場合がございます。

2005 年 3 月現在
MP2639900804

Printed in JAPAN